

東南海地震・南海地震に備えて

大分県総合防災訓練を実施



自衛隊ヘリによる負傷者搬送訓練



市内12行政区で津波避難訓練が行われました
(国東小学校には、田深区・今在家区の沿岸部の皆さんが避難しました)



消防本部署員の指導で、心肺蘇生訓練を行いました



消火器を使って初期消火訓練



消防本部・消防団による放水訓練

近い将来起こる可能性の高い「東南海地震・南海地震」による津波被害などを想定した「大分県総合防災訓練」が8月27日(日)に実施されました。

この訓練は、地震発生時の津波警報発表による避難対策及び災害応急対策活動の迅速円滑化並びに防災活動体制の充実強化と、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的としており、国東市をはじめ中津市、宇佐市、豊後高田市、姫島村で行われました。

国東市では、津波の影響が予想される12行政区を対象として、約1,200人の参加による防災訓練を実施し、市内7会場で避難訓練及び炊出し、給水、災害弱者搬送、初期消火訓練等が行われました。

また、メイン会場となった武蔵多目的広場(武蔵町)においては、市消防本部・消防団や陸上自衛隊、大分海上保安部等の防災関係機関や市社会福祉協議会、国東郵便局、NTT西日本大分支店、建設業協会国東支部等の各種団体により展示訓練が実施され、ヘリによる負傷者搬送や埋没者救出・搬送、海上救助、特殊災害訓練等が武蔵町の避難訓練に参加した住民の皆さんの前で行われました。

「災害は 忘れた頃にやってくる」といいます。いざというときのために、日頃から備えをしておく事が何よりも大切です。今回の訓練を契機に、いつ災害が起きてもおかしくないという心構えで防災対策を進め、災害に対して備えをしておきましょう。